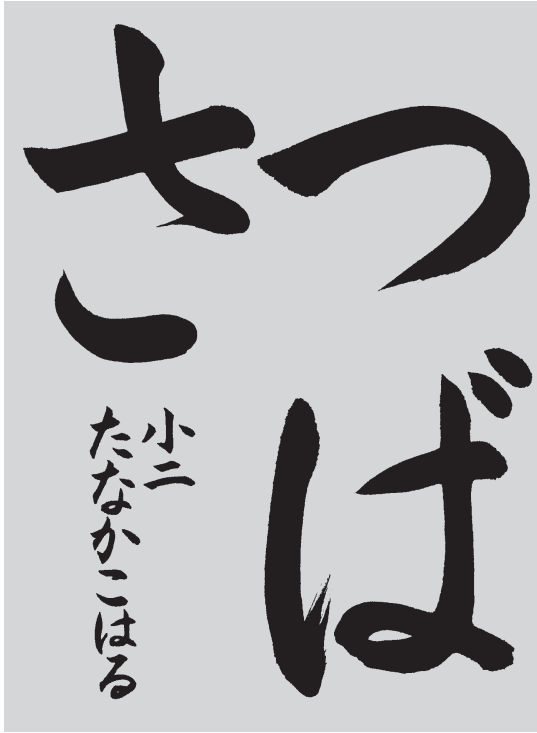


〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。  
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

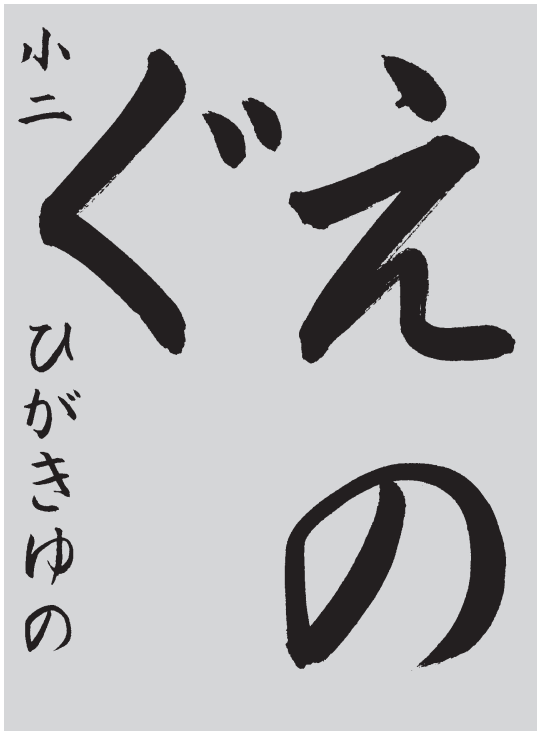


佐藤菜扇先生

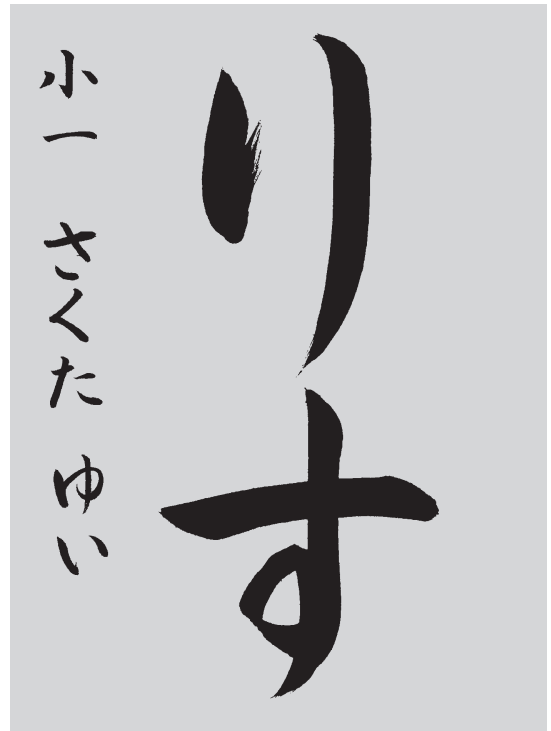
幼・小学1年参考手本



柳橋香仙先生



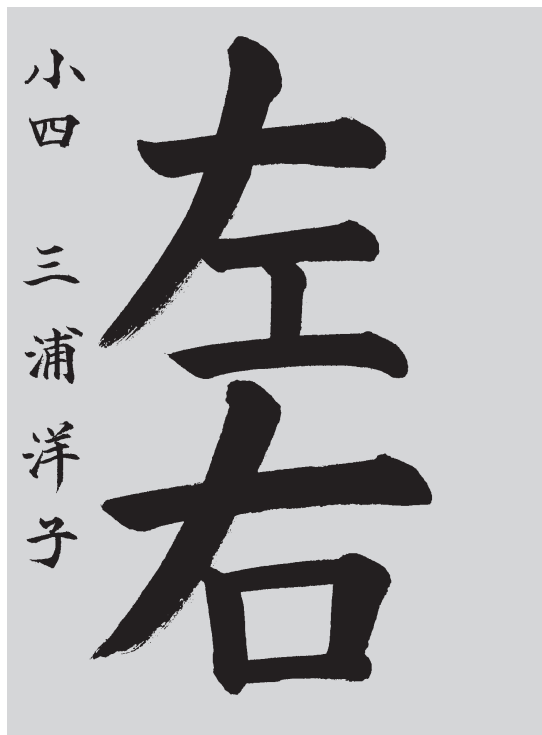
稲垣小燕先生



小竹石雲先生

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学4年参考手本



山口仙草先生

小学3年参考手本



東福青篁先生



小浜大明先生



種谷萬城先生

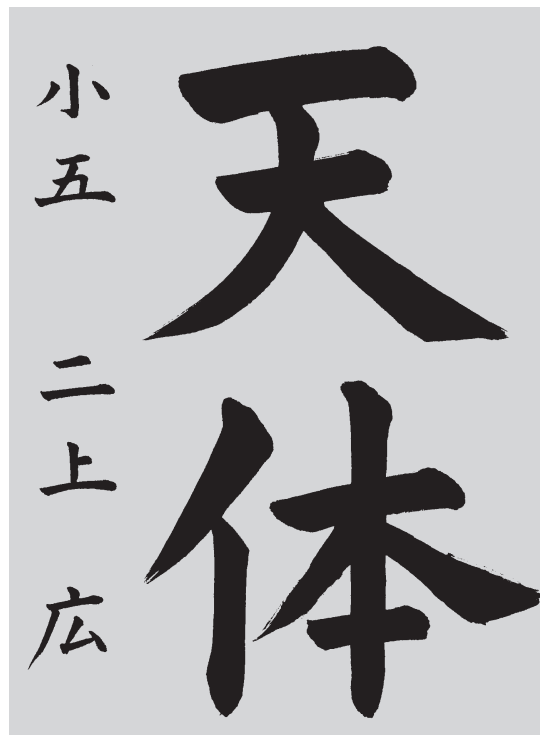
〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学6年参考手本

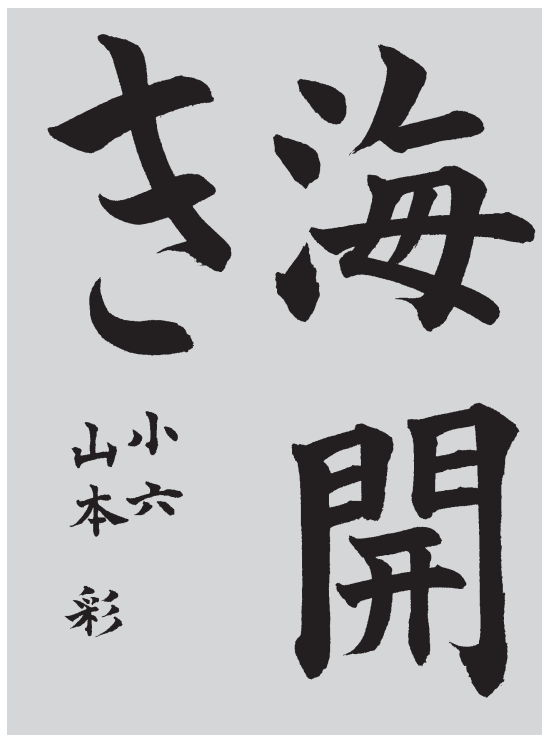


小 伏 小 扇 先生

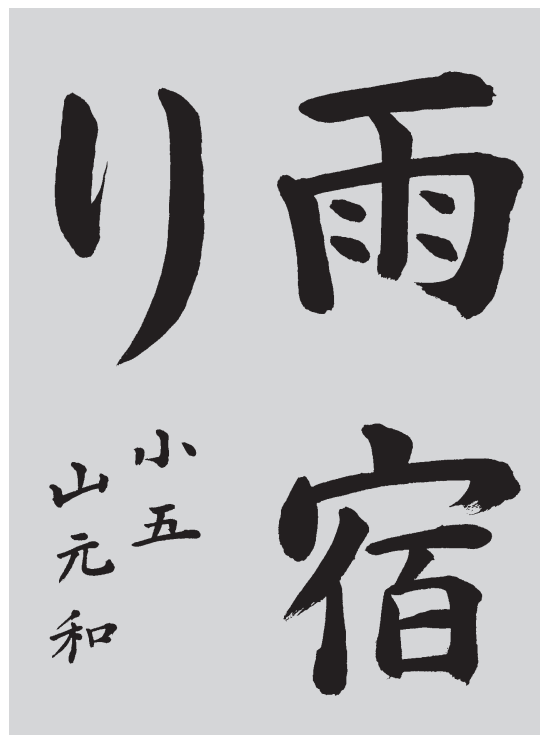
小学5年参考手本



広 瀬 舟 雲 先生



名 越 蒼 竹 先生



大 野 祥 雲 先生

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

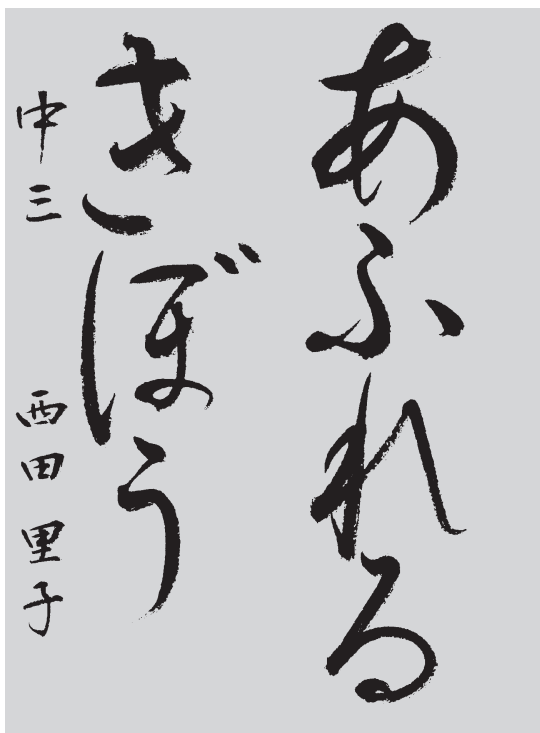
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



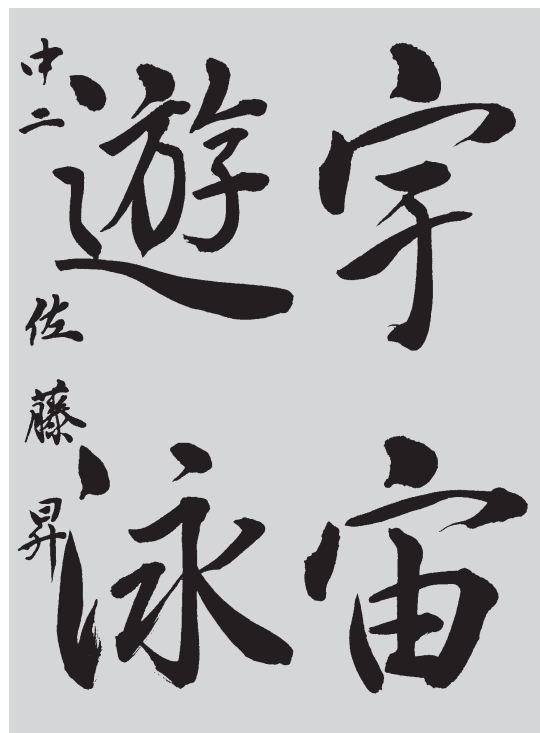
半田藤扇先生



尾形澄神先生



下谷洋子先生



辻元大雲先生

# 〔6月10日締切課題〕

幼・小学 1 年

## 硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

〔6月10日締切課題〕 用紙は本院指定のものか、もしくは指定の用紙をコピーして使用してください。  
※6月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、7月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。(毛筆も同じ)

◎各学年に「学習のめあて」をつけました。

「なにをれんしゅうするか」をはっきりして一生けんめい書きましょう。

◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用して下さい。

◎学年は漢数字(一、二、三……)、級は算用数字(10、9、8……)、段は漢数字(一、二、三、四)と記入。

支 部 名			
だん・きゅう			
がくねん			
—			
なまえ			
	が	さ	
	ふ	ら	
	っ	き	
	て	ら	
	く	ら	
	る	ほ	
	。	し	
			きたぞえまなみ

◎作品に、学年と自分の「氏」「名」を本人が書く。

◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。

◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。

◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の貼り間違いにご注意ください。

『ほし』

「とめ」「はね」をただしくかきましょう。

つづけるまもちでかく

とめ  
右上へまもちをつづける

とめ  
とめる

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 3 年

小学 2 年

支 部 名				
		記		
		を	わ	
段・級		書	た	
		い	し	
学 年		て	は	
	三	い	毎	
名 前		ま	日	
		す	、	
		。	日	
	近			
	安			
	斗			
	真			

支 部 名				
		行		
		き	こ	
段・級		の	れ	
		バ	は	
学 年		ス	、	
	ニ	で	と	
名 前		す	な	
		。	り	
			町	
	三			
	星			
	花			
	音			

書

長く

筆順

よこ分間を開きすぎない

一 → 二 → 三 書

記

言(ごんべん)の形に気を付けて書きましょう

毎

筆順

へた々毎毎

「日記」

とくに、「毎」の字形を正しく書きましょう。

行

「つくり」が大きい

町

「」をさげて書く

1 机

2

「ひつじゅん」にちゅうい

「バス」

「町」の字形を正しくかきましょう。

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 5 年

小学 4 年

支部名			
	ま	的	今
	と	は	日
段・級	め	、	の
	る	交	話
学 年	こ	流	し
	と	会	合
名 前	と	の	い
	で	提	の
	す	案	目
	。	を	

支部名			
	よ	夏	今
	う	が	日
段・級	な	い	は
	暑	き	、
学 年	い	な	六
	日	り	月
名 前	で	始	の
	す	ま	初
	。	っ	め
		た	

中心  
案  
「女」をへん平に  
長く

提  
《筆順》  
一 才 扌 扌 扌 扌 扌  
提 提 提 提 提

的  
おれ  
点の位置に注意

『話し合い』  
左右のつりあいよく、字形を整えましょう。

暑  
長く  
長さと同様に注意

始  
《筆順》  
く 々 女 始

初  
「ネ」は衣（ころもへん）の筆順  
、ネ ネ ネ ネ  
※「ネ」は示（しめすへん）

『六月』  
「へん」と「つくり」の組み立て方に  
気を付けて書きましょう。

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

中 学 生

小 学 6 年

支 部 名				
段・級				
学 年	中一			
名 前	中尾 香緒里			

を  
出  
迎  
え  
て  
く  
れ  
ま  
し  
た  
。

樹  
木  
の  
生  
い  
茂  
る  
山  
の  
空  
気  
が  
わ  
た  
し

ロ  
ー  
プ  
ウ  
エ  
イ  
で  
麓  
ま  
で  
降  
り  
る  
と、

支 部 名				
段・級				
学 年	六			
名 前	池川 亜希			

校  
庭  
に  
植  
え  
ま  
し  
た  
。

き  
く  
を  
五  
株  
も  
ら  
っ  
て  
、

め  
ず  
ら  
し  
く  
て  
貴  
重  
な

降 樹  
出 茂

〈簡単な行書〉

中心  
樹木の生い茂る山

「ロープウェイ」  
漢字、ひらがな、カタカナをつりあいよく  
書きましょう。

植

〈筆順〉  
木 木 木 植 植

庭

〈筆順〉  
广 广 广 庭 庭

中心  
貴

「きく」  
文字の外形を見て字形を整えましょう。

画の長さと「はらい」の方向に注意



3年	心	シン こころ	丨	乚	心	心	心
	里	リ さと	丨	冂	日	甲	里
4年	左	サ ひだり	一	ナ	𠃉	左	左
	右	ウ ユミ	ノ	ナ	才	右	右
5年	雨	ウ あめ あま	一	冂	雨	雨	雨
	宿	シュク やど やど・る やど・す	宀	宀	宀	宿	宿
6年	熱	ネツ あつ・い	土	𠃉	𠃉	𠃉	熱
	海	カイ うみ	、	シ	汜	汜	海
	開	カイ ひら・く ひら・ける あ・く あ・ける	丨	冂	冂	門	開
中学	層	ソウ	尸	尸	屈	層	層
	遊	ユウ ユ あそぶ	丨	𠃉	方	𠃉	遊
	泳	エイ およぶ	シ	シ	汜	泳	泳

行書を学ぼう (190)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」

希

希

武

武

地

地

望

望

蔵

蔵

層

層

ひらがなの字源 (190)

書写教育  
全国大学書写書道教育学会編より転載

源字	字形
う	宇 𠄎 𠄏 𠄐
ぼ	保 𠄑 𠄒 𠄓
き	幾 𠄔 𠄕 𠄖
る	留 𠄗 𠄘 𠄙
れ	礼 𠄚 𠄛 𠄜
ふ	不 𠄝 𠄞 𠄟
あ	安 𠄠 𠄡 𠄢

※源字については、異字体から変遷したものに\*印を付して( )にその字体を記した。  
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

# 漢字に親しもう

39

六月号六年生の硬筆課題「貴重」の「貴」という字にスポットを当てて「貴」の意味と使い方、「貴い」と「尊い」の違いまで学んでみましょう。

# 貴

おん キ  
くん (たつとい)・(と  
うとい)・(たつとぶ)・  
(とつとぶ)  
部首 貝(かい)  
画数 12

口 中 虫 艹 青 貴 貴

𠂔 𠂔 𠂔 貴 貴

𠂔 (||両手で大きな荷物を持つようす)

と、貝 (||お金) を組み合わせた字。

大きなねうちの ある財産を表す。

「たつとい」「たつとぶ」の意味がある。

## いみ・じゆく

① たいせつな。ねうちがある。— 貴重・貴金屬

② 身分・地位が高い。— 貴人・貴族・高貴・富貴

③ 相手をうやまう気持ちを表すことば。  
— 貴下・貴兄・貴殿・兄貴

## つかいかた

○ 貴重品を金庫に保管する。

○ 金や銀は貴金屬と呼ばれる。

○ 平安時代の貴族の優雅な生活。

○ 高貴な身分の人。

○ うちの兄貴。



## 「貴い」と「尊い」

【貴い】そのものの持つ価値や身分が上である。

○ 貴い品物を大切にしまっておく。

○ 和を貴んで争いを禁じる。

○ 若い人はもっと命を貴ぶべきだ。

○ 一人旅で、貴い体験を得る。

○ 事故にあってはじめて人命の貴さを知った。

○ 今回の失敗は貴い教訓となった。

【尊い】大切にすべきものとして、特別な気持ちを持つこと。

○ 神を尊ぶ。

○ 生徒はみんな先生を尊んでいる。

○ 戦争で多くの尊い犠牲をはらった。

○ 平和の尊さ。

「とうとい」は「たつとい」「とつとぶ」は「たつとぶ」と読んでよい。